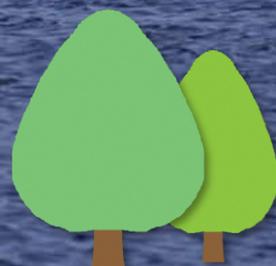


ウトナイ湖通信



No.233

2023年10月号



夏の間、シベリアやロシア極東などで過ごしたガン類、ハクチョウ類、カモ類などの水鳥が、越冬地に南下する途中、中継地のウトナイ湖に飛来します。そのため例年10月のウトナイ湖は多くの水鳥で賑わいます。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

10月のイベント情報 お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

10月8日(日)
10:30~11:30
レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内するガイドウォークです。(荒天時は館内ガイドウォークに変更します。)
定員: 10名程度
対象: どなたでも(小学生以下保護者同伴)
事前申込: なし。
直接当センターへ

**アイロンビーズで野鳥を作ろう~
ハクチョウ類編 10/21(土) 10:00~**
ハクチョウ3種から選んで作ります。
定員: 事前申込先着 6組(1組2作品まで)
対象: どなたでも(小学生以下保護者同伴)
申込: 10/7~10/20の
開館時間に電話で当センターへ

毛糸のポンポンで野鳥を作ろう
10/22(日) 10:00~
毛糸を巻いてオオハクチョウの人形を作ります。
定員: 事前申込先着 5組(1組1作品まで)
対象: どなたでも(小学生以下保護者同伴)
申込: 10/8~10/21の開館時間に電話で当センターへ

10月中『3施設合同スタンプラリー』開催。
詳細は当センターSNSをご覧ください。

ウトナイ湖・秋の渡り鳥 DAY 10月14日(土)

- ①講演会「野鳥図鑑作成の現場から。~野鳥図鑑画家 谷口高司先生に聞いてみよう~」
時間: 11:00~12:30 / 対象: 一般(小学生以下は保護者同伴) / 定員: 事前申込先着 40名、当日直接 20名
 - ②はじめての水辺の渡り鳥観察会
時間: 14:00~15:30 対象: 一般(小学生以下は保護者同伴) / 定員: 事前申込先着 20名
 - ③マガンのカウント体験コーナー
時間: 開館時間中 / 対象: どなたでも / 定員: 無し / 場所: 館内展示室 / 申込: なし。直接会場へ。
- ①・②は: 10/1~10/13の開館時間に電話で野生鳥獣保護センターへ

市民ギャラリー 野鳥図鑑画家 谷口高司原画展 会期: 10月7日(土)~11月5日(日) 「ウトナイの窓から~野鳥図鑑画家のあこがれ」

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間: 午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムーくん



~ ウトナイ湖 ~
・国指定鳥獣保護区特別保護地区
・ラムサール条約湿地
・東アジア・オーストラリア地域
・フライウェイ・パートナーシップ

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



ハジロカイツブリ

原因：陸地へ不時着か



搬入直後の様子



水中で小魚を食べている様子

9月 13日 市内の会社敷地内でカラスに襲われて
10:20 いるところを発見・保護され、その後
当センターへ搬入される。



診察をしたところ、左足の水かきの部分にすり傷を確認。軽傷であったが、消毒措置をとり、安静に。その後、歩行や水上での動き、採餌などの様子を確認したが、運動機能に異常は認められなかった。

16:00 餌も十分に食べ、当日のうちにリリースとなる。

ハジロカイツブリ（カイツブリ目 カイツブリ科）

雌雄同色。全長は31cm。嘴はやや上に反っていて、全体に黒～鉛色の羽毛をしています。冬鳥として渡来し、港湾や沿岸湖沼などの穏やかな水域で生息します。潜水して小魚や甲殻類を捕食するほか、藻類なども食べます。

トピックス



長生大学の講座で傷病鳥獣救護を伝える

当センターの山田獣医師が出前講座で苫小牧市長生大学の約45名の研修生の皆さんに、傷病鳥獣救護活動についてお話をしました。人為的に怪我をした野生鳥獣救護のお話と共に、終生飼養のトラフズク等も実際に見ていただき、皆さまには、熱心に耳を傾けていただきました。



登録ボランティアフォローアップ研修講座

当センターの登録ボランティア対象の標記の研修を実施し、11名のボランティアの皆さんに参加いただきました。イベントや調査における安全管理をテーマに、活動中に起こりそうなりスクの洗い出しと共有、屋外での危険生物(ツタウルシ等)の場所や、見つけ方の確認を行ないました。



ボランティアコーナー

伊達市や江別市の自然関連団体の活動や、野鳥観察に関わる団体で探鳥会のガイドも行なっている大垣さんにインタビューしました

野鳥観察を始めたきっかけを教えてください

【グループ活動の魅力】大垣 創 氏

2014年～2019年まで苫小牧市に住んでおり、その際にウトナイ湖の存在を知りました。ウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンターやウトナイ湖野生鳥獣保護センターに遊びに行ったことがキッカケとなりました。



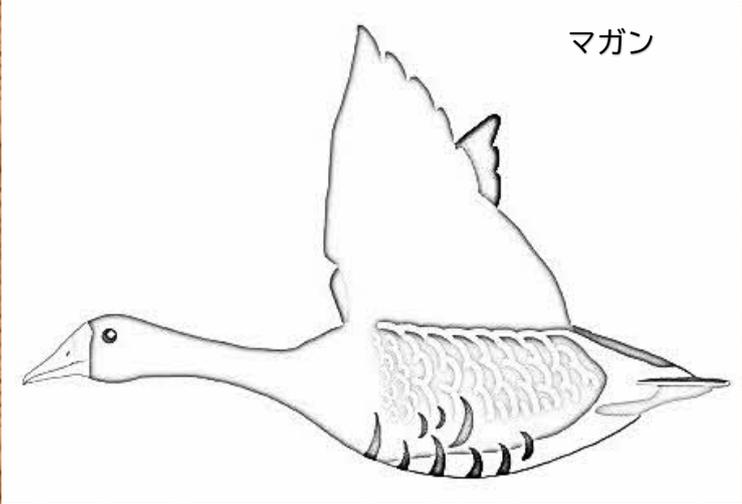
活動中の 大垣氏

当センターのボランティア活動を始めた「グループに所属して活動する」魅力や所属して良かったと感じた点はありますか？

個人での野鳥観察では「楽しかった」と感動することが多いですが、ボランティアなどの活動に取り組むことで、野鳥の生息する場所に沢山のゴミが落ちているのを見て「キレイにしないといけない」、野鳥の普段知ることのできない生態を知ることができて「学びを深めることができる」と言った魅力があります。また、ボランティア活動に所属することで、沢山の方との出会いや、野鳥や自然に関するお話で沢山の意見や考え方を知ることができるのが、所属してとても良かった事だと思っています。

ウトナイ湖 お楽しみコーナー

【ウトナイ湖・めりえ】



マガン

マガン



秋にウトナイ湖に渡ってくる水鳥の「マガン」。ウトナイ湖を代表する野鳥の一種です。お腹の黒い班（線）が特徴です。

マガンについて知りたい人は、最後のページの「自然情報」をご覧ください♪

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



Twitter



レンジャーのおすすめ自然情報



【ヒシクイ】

全長 78~89 cm。群れで行動する。嘴が黒く、先がオレンジ色。「ギャハハン」「ガハハン」と低い声で鳴く。マガンより大きい。



【マガン】

全長約 72cm 群れで行動する。キャハハンと大きな声で鳴く。嘴の根元が白い。カモより少し大きい。



【ダイサギ】

全長 80~104cm ウトナイ湖では、秋から冬に見られることが多く、岸辺で魚などをねらう。



【チョウセンゴミシの実】

つる性の樹木で、実はブドウの房のようになる。ゴミシは漢字で五味子と書く。野鳥に人気。

ウトナイ湖に多くの水鳥たちが渡来する時期となりました。特によく見られるのは、マガンとヒシクイです。10 月中は、彼らの鳴き声が湖中で響き渡るでしょう。運が良いと、マガン・ヒシクイの群れの中でシジュウカラガンやハクガンが見られるかもしれません。

秋は日中でもガン類の群れが見られ、水草を食べたり、休んだりする様子が見られます。運が良ければ、道の駅前の湖岸や当センター近くのアズマヤからも観察できます。



ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



X(旧 Twitter)

自然観察路ガイドマップ【秋】

秋のお勧めポイント

シベリア方面から渡ってきたマガンやヒシクイ、ハクチョウ類、カモ類が湖で水草などを食べたり、のんびりと休息している姿を見ることが出来ます。林の中はカラフルな木の実や紅葉で彩られ、シマリスなどが冬支度を始めています。

